

「琉大資料がつなぐあやはし：うるまの今昔」企画概要

附属図書館保存公関係

1.趣旨

琉球大学附属図書館では、地域連携の一環として企画展「琉大資料がつなぐあやはし：うるまの今昔」を開催する。本企画展は、本学の学術資源である琉球・沖縄関係の資料を広く県民に公開し、琉球・沖縄の歴史・文化・自然を身近に、且つ総合的に学ぶことができる学修機会の創出をその主たる目的としている。

2.概要

本企画展では、うるま市や海とのつながりをテーマに展示を構成している。附属図書館からは、在りし日の勝連地域の繁栄を謡った「おもろさうし」や、戦後間もない時期に撮影されたノロ関係写真など、所蔵する貴重な古文書類を多数展示する。また、博物館（風樹館）が所蔵する生物標本をはじめ、考古学研究室が1950年代に発掘調査をおこなった津堅貝塚出土資料、島嶼地域科学研究所が沖縄各地と台湾で収集したセメント瓦などの展示を予定している。このように、日頃は収蔵庫や研究室の奥で眠っている貴重な本学の文化資源を多彩な観点から展示し、うるま市やその沿岸地域について多角的に学ぶことのできる構成となっている。さらに、期間中には関連イベントとして、オープニングセレモニーでの展示説明会、島嶼地域科学研究所と風樹館によるワークショップの開催を予定している。

3.内容

・展示資料：

「椿説弓張月版画」、『おもろさうし 仲吉本』、「勝連城」古写真（明治時代に撮影）、
「諸間切のろくもいのおもり」、「[アルバム 平安座 他]巫 NORO 平安座・比嘉・浜」
「遺老説伝」、沖縄各地域と台湾のセメント瓦、津堅貝塚出土資料など

・関連イベント

- ①オープニングセレモニー 10月5日（土）10:00~11:00（企画展初日）
- ②島嶼地域科学研究所「セメント瓦ワークショップ」 10月12日（土）14:00~16:00
講師：波多野想（島嶼地域科学研究所教授）、山極海嗣（島嶼地域科学研究所講師）
- ③風樹館ワークショップ「シヌジベントのキーホルダーを作ってみよう！」
10月26日（土）14:00~15:30
講師：平良涉（風樹館助教）

4.共催機関

うるま市教育委員会

琉大資料が つなぐあやはし うるまの今昔

2024 10/5 土 - 10/27 日

会場 | うるま市立海の文化資料館

開館時間 | 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日 (月曜が祝日の場合は翌日が休館)

入場
無料

関連企画

1 セメント瓦ワークショップ

日時 | 10/12 土 14:00-16:00

講師 | 波多野 想 (琉球大学島嶼地域科学研究所教授)
山極 海嗣 (同 講師)

定員 | 30名 (申込不要。当日先着順)

2 ンヌジベント (伝統タコ釣り漁具) の キーホルダーを作ってみよう!

日時 | 10/26 土 14:00-15:30

講師 | 平良 渉 (琉球大学博物館助教)

定員 | 15組・30名 (右下QRコードから事前申込みが必要)
*小学生以上対象 (小学生は保護者同伴)

主催/琉球大学附属図書館 共催/うるま市教育委員会
協力/琉球大学博物館(風樹館)、琉球大学島嶼地域科学研究所、
琉球大学考古学研究室

問合せ先/琉球大学附属図書館情報サービス課保存公開係

TEL: 098-895-8697 E-mail: tsokinawa@acs.u-ryukyu.ac.jp

特設サイト



フェスタ
国立大学2024



PRESS RELEASE

配信先：沖縄県政記者クラブ

令和 6 年 9 月 27 日
琉 球 大 学

令和 6 年度琉球大学附属図書館企画展を開催します ～「琉大資料がつなぐあやはし：うるまの今昔」～

このたび、琉球大学附属図書館では、企画展「琉大資料がつなぐあやはし：うるまの今昔」を開催することになりました。うるま市や海とのつながりをテーマに、附属図書館所蔵の貴重な古文書類をはじめ、日頃は収蔵庫や研究室の奥で眠っている貴重な本学の文化資源を多彩な観点から展示します。

また、関連イベントとして、オープニングセレモニーでの展示説明会や島嶼地域科学研究所と風樹館によるワークショップ等を予定しております。

つきましては、是非ご来場いただき、取材・報道くださいますようお願いいたします。

記

展示会名称：令和 6 年度琉球大学附属図書館企画展

「琉大資料がつなぐあやはし：うるまの今昔」

開催場所：うるま市立海の文化資料館

開催期間：2024 年 10 月 5 日（土）～10 月 27 日（日）

休館日：10 月 7 日(月), 15 日(火), 21 日(月)

主 催：琉球大学附属図書館

共 催：うるま市教育委員会

内容：別紙参照ください



PRESS RELEASE

【琉大資料がつなぐあやはし：うるまの今昔】

「あやはし」とはオモロ語で「美しい橋」という意味です。企画展の開催地である海の文化資料館が所在する「海の駅あやはし館」の名称にも使われています。この企画展では、附属図書館が所蔵する貴重書をはじめ、本学から出展する多彩な展示資料を通して、過去と現在・地域と地域・人と人とのつながりを感じられる展示構成となっています。また、海中道路でつながるイチハナリの島々（平安座・浜比嘉・宮城／伊計）や津堅島など、うるま市の島嶼地域に関する展示も見どころのひとつです。

【関連イベント】

1. オープニングセレモニー

日時：2024年10月5日（土） 10:00~11:00（企画展初日）

場所：うるま市立海の文化資料館

（うるま市与那城屋平4番地 海の駅あやはし館2階）

内容：主催者・共催者による挨拶のほか、展示を担当した本学職員による展示説明会（ギャラリートーク）を開催します。

2. 島嶼地域科学研究所「セメント瓦ワークショップ」

日時：10月12日（土）14:00~16:00

場所：海の文化資料館エントランス＆会議室

講師：波多野想（島嶼地域科学研究所教授）

山極海嗣（島嶼地域科学研究所講師）

内容：赤瓦ほどメジャーではないものの、沖縄各地で目にする「セメント瓦」。その歴史やデザインには、日本・台湾・琉球列島をまたにかけた多彩な魅力が秘められています。琉球大学での最先端の研究成果をわかりやすく学べるワークショップです。

参加人数：先着30人（当日先着順）

3. 風樹館ワークショップ「ンヌジベントのキーホルダーを作ってみよう！」

日時：10月26日（土）14:00~15:30

場所：海の文化資料館エントランス＆会議室

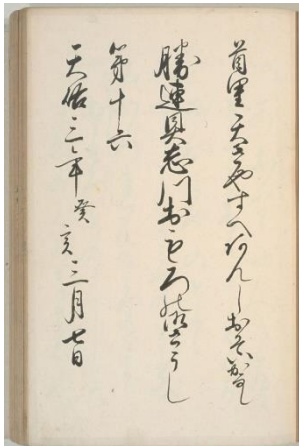
講師：平良渉（風樹館助教）

内容：「ンヌジベント」とは伝統的なタコ釣りの漁具で、マダライモガイなどの貝をひもで繋いでタコを釣ります。ンヌジベントやタコ漁に関するレクチャーの後、参加者とキーホルダーを作ります。

参加人数：15組・30名程度 ※小学生以上対象（小学生は保護者同伴）

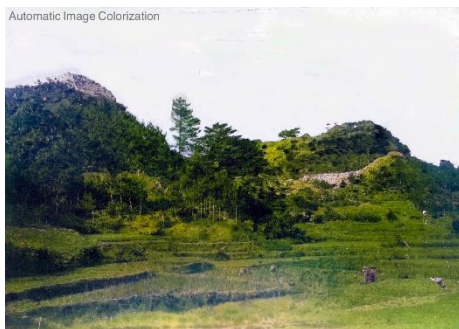
PRESS RELEASE

【主な展示資料の紹介】



「おもろさうし 仲吉本」(伊波普猷文庫所蔵)

『おもろさうし』は、首里王府が奄美・沖縄に伝わるおもろを記録した沖縄最古の歌謡集です。巻16「勝連具志川おもろ御さうし」には、繁栄する勝連地域やその統治者である阿麻和利を讃えるオモロが収録されています。



「勝連城」(明治期琉球写真帳)※AI カラー化

明治時代に撮影された勝連グスクの写真です。現在はほとんど残っていない東側の外郭の石垣も確認できます。画像の写真は、ホリーニョ氏(白黒写真カラー化インフルエンサー)にご協力いただき、AIでカラー化してもらったものです。



「[アルバム 平安座 他]巫 NORO 平安座・比嘉・浜」

中山盛茂(1904-1978)が、1960年代に県内各地のノロや祭祀について調査した記録です。各地のノロや拝所について取材した写真とコメントをアルバムにまとめています。(写真は伊計島の島添大神の御イベ)



「津堅貝塚出土資料」(考古学研究室所蔵)

津堅貝塚は1956年に発見された貝塚時代後期の遺跡です。土器片を中心に、石斧や敲石(たたきいし)などの石器、貝輪や臼状耳飾りなどの貝製品・骨製品、イノシシの骨や魚骨などの自然遺物が確認されています。